

会報 いずみ No.185

発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター 編集／広報委員会



撮影者：須藤和文会員 写真：「玉川上水」水辺の鳥

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号
 電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272
 ホームページ [昭島市シルバー人材センター](#)



会員数 (令和6年3月18日現在)	男性	女性	合計
	767人	363人	1,131人 (未回答1人)

第14回定時総会 開催のお知らせ



日時 6月14日(金) 午後2時

場所 「FOSTER (フォスター) ホール」
昭島市民会館 (大ホール)

会員皆さまのパワーが更なる飛躍への原動力となります!!

日々移り変わりゆく状況下の毎日ですが、ぜひご出席いただきますようお願い申し上げます。出席される判断は個人に委ねます。皆さまの健康と安全を最優先としていただき、ご心配の方は委任状または議決権行使書もご活用の上ご検討ください。また、万が一、その時の状況化によっては、感染症拡大防止対策へのご協力をお願いする場合がございます。その際は、よろしくお願いいたします。

私の考えるこれからの シルバー人材センター



会長 栗原 輝雄

昭島市シルバー人材センター（以後…センター）の事業状況は、設立から今まで時代に伴う環境

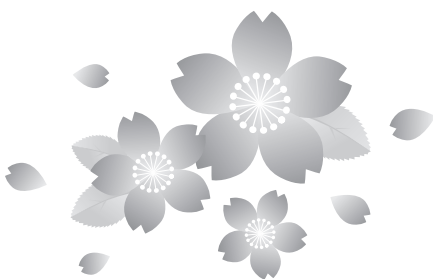
の変化はあるものの、おおむね堅調に推移してまいりました。これもセンター職員をはじめ諸先輩方の不断のご努力と関係諸機関の絶大なるご支援の賜と感謝申し上げます。これからもセンターの発展に寄与いただいたその足跡を踏まえ、さらに先へと繋いでいく責務を実感しております。

さて、近年少子高齢化と言われて久しく、また平均寿命も延びています。この現況を鑑みると、今後センターの会員増強は厳しさを増してくることが予想されます。さらに就業の種類を増やし、会員の在籍年数を伸ばす工夫がこれからの課題となります。これからはより高齢者の福祉に重点を置くとともに、高齢化社会での支援側に長いことがセンターの本来の目的でもあります。

仕事をキッカケに地域社会との関りを持ち、楽しさややり甲斐を得られれば、日々

の生活のリズムが豊かになると思います。地域の自治会、老人会、サロンなどの活動にも進んで参加することで、健康寿命も延びるはず（フレイル予防→日常生活を人の力を借りずにできている）。楽しいこと、できることから少しずつ、また人にも少しだけお節介をして、楽しく、元気でいることが私たちの社会貢献であり、「ピンポイント」につながるはずだと思っています。

改めて、センターの理念である「自主・自立、共働・共助」を皆さんに十分ご理解いただき、皆さんと目的を共有しましょう。会員になったことも何かの縁、お互いに思いやりを持って仕事に、遊びに、元気で、楽しく、長く続けられるセンターにしていきたいと考えています。「仕事が育む 元氣パワー 昭島市シルバー人材センター」、「高齢者が元氣なまち、昭島」、そうなれば楽しいと思いませんか。



**令和5年度 第2回理事・地域班長
全体会議が開催されました！**

3月8日（13時30分から）、松原町高齢者福祉センターにて、令和5年度第2回理事・地域班長全体会議が開催されました。

当日は地域班長30名、理事17名が出席し、足立益幸理事の司会で進行されました。

◎最初に栗原会長からのあいさつ

インボイス制度対応は、事務費1%アップと配分金の最低賃金を目指す値上げ対応をして頂いているので賄える見通しです。最大の問題は事務所移転（令和6年7月末までに移転する）で、事務局の皆様にはご苦勞をお掛けしていることに感謝を申し上げます。

◎各中学校地区の地域班長と地区理事の紹介

各地区委員から紹介がありました。

◎当センターの現況報告

三浦常務理事からは当センターの事業収益（1月末現在）について前期比で1,700万円増で予定通り行けば、4度目の5億円越えも可能です。尚、中期計画の最終年度目標も途中で可能ではないかと思われず。会員数は現在1,133名で中期計画の最終年度目標である1,300名には厳しい状況です。この報告がありました。

◎作業部会、委員会の活動内容報告

☆総務部会（石合副会長兼部会長）：今も続いてる新型コロナウイルス感染の防止に留意しながら、安全・安心の確認のもとに、既に終了した総会をはじめ作業部会、研修・講習会などの開催を推進していく。

令和6年度は、フリーランス法の制定を踏まえた契約の検討が必要です。又、昭島ふれあい祭りの実施は事務所移転があるので検討中

す。それに入会説明会等は7月から場所を代え「昭島市勤労商工市民センター」で行う予定です。

☆事業部会（三浦常務理事兼部会長）

：民間企業他の接遇研修を11月に63名参加で実施致しました。

☆広報委員会（渡邊委員長）：会報いずみ（秋季号と正月号）を発行し、センターのPRと会員募集のため「ボランティア・

市民活動フェスティバル」に参加致しました。

☆安全管理委員会（和智副委員長）：交通安全講習会と2回の安全就業巡回点検を実施しました。それに緊急連絡カードをまもなく配布いたします。

☆事務所移転（事務局長）：最終的には、現事務所を建て替えて（建坪50坪ぐらいの平屋）今の場所に返る。（令和8年1月～3月に戻る）

それまでの仮事務所（7月末までに引越し予定先）は民間の事務所を借りるか、市の施設を借りるか、現在検討中で「広報あきしま」の6月から7月号に掲載される予定です。

次に、質疑応答が行われ、「カート回収の就業等が終了になるものがあるが、就業している人が退会しないようにケアしてあげて下さい。」という質問がありました。↑事務局



が鋭意対応致します。

最後に石合副会長より閉会のあいさつがあり、閉会となりました。

★役員研修会

「これからをどう生きるか」

講師 行政書士 青山 智美氏

引き続き（14時35分から）講師に会員で行政書士である青山 智美氏を招いて「これからどう生きるか」についての研修会を、職群班班長等も加えて、52名が出席して開催されました。「エンディングノートはこれからの始まりである」とのお言葉で締めくくりました。

シルバー人材センター北信号の渡り方

「横断歩道を渡らないと車との事故の時、人も自転車も責任を問われます」

つい最近ここで事故を起こした当事者からの提言です。会員の皆様センターの行き帰りに、歩きの時も自転車の時も横断歩道を外れて渡っていませんか？

「私はセンターに行く時に自転車横断歩道でないと車を渡りセンターの方から右折して来た車と接触し転びました。事故の時の警察の見解は、近くに横断歩道があるのに道路側を渡ったので、車も悪いが自転車も悪いので人身事故でなく物損事故です。」というものでした。

このように自身も患者にされてしまいますので、必ず横断歩道を渡して下さい。また、自転車は降りて渡して下さい。

どんな所でもナメ横断は大変危険ですので絶対やめましょう！

理事会だより

1月定例理事会（1月29日）

議決事項より一部抜粋

・会員の入会承認について

（男性6名、女性3名計9名）

・就業基準に基づく再契約について

（16件、延35名）

などが承認されました。

報告事項より一部抜粋

・事業部会より自転車管理、学校管理を中心にした接遇研修を2月9～22日の内の7日間、午前午後2回、計14回の開催予定です。

・会員増強検討委員会より出張入会説明会を3月4日に郷地稲荷神社の社務所で行う予定です。

などの報告がありました。

2月定例理事会（2月26日）

議決事項より一部抜粋

・会員の入会承認について

（男性2名、女性1名計3名）

などが承認されました。

協議事項より一部抜粋

・令和6年度事業計画（案）について
などが協議されました。

報告事項より一部抜粋

・総務部会より令和5年度第2回理事・地域班長全体会議及び役員研修について、3月8日に松原町高齢者福祉センターで開催する。また、パトロールボランティアはむずかしい問題があるので、表彰規定にいれない。

・会員増強検討委員会より2月25日に第9回ボランティア・市民活動フェスティバルに、

三役、広報委員会と事務局で参加しました。
第6地区シルバー人材センター三役研修に参加しました。

などの報告がありました。

3月定例理事会（3月18日）

議決事項より一部抜粋

・会員の入会承認について

（男性4名、女性なし計4名）

・令和6年度事業計画（案）について

・令和6年度収支予算（案）について

・第14回定時総会の開催日（6月14日）及び

議決権行使書の提出期限について

などが承認されました。

報告事項より一部抜粋

・会長、副会長及び常務理事の職務執行報告について

・東京しごと財団第2回会長会議に会長が出席しました。

・会員増強検討委員会より出張入会説明会（3月4日開催）に5名の参加がありました。
などの報告がありました。

令和6年度 年度会費等の納入方法について

4月、5月に2,800円を超える就業実績のある方は、配分金から年度会費等（2,800円）を控除させていただきますので、ご了承ください。なお、配分金が2,800円以下の方、もしくは仕事をしていない方は、6月中旬までに年度会費等の納入通知書を郵送いたします。その納入通知書を持って、6月末までにセンター指定のコンビニもしくはセンター事務局で年度会費等の納入をお願いします。

出張入会説明会を実施しました！

会員増強検討委員会ではセンター内での定期的な入会説明会に加え地域へ出向き、シルバー人材センターのPRと入会への機会を増やすことを目的に「出張入会説明会」を行っています。

コロナ禍により中断しておりましたが今回、令和6年3月4日（月）午前10時より郷地稲荷神社 社務所をお借りして、福島中学校地区内の郷地町を中心とその周辺にお住まいの方を対象に実施、事前に広報配布担当の方によりチラシが配布されました。当日は5名の参加がありました。

シルバー人材センターの紹介ビデオの視聴、会員増強検討委員会委員長（理事）による説明、事務局より入会手続きの案内をして終了になりました。

今後も会員増強検討委員会では「出張入会説明会」を予定しています。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。



安全管理委員会からのお知らせ

皆さま、ご存知でしょうか。2020年4月から、東京都では自転車損害賠償保険等への加入が義務化となっております。

以前から、「会報いずみ」等でご案内していますが、自転車事故で加害者になった場合の賠償は、シルバー保険の対象になりません。

東京都が自転車損害賠償保険等への加入を義務化したことで、会員の皆さまには保険の見直しを行っていただきたいと思えます。自動車保険や火災保険に個人賠償責任特約を付帯していれば、自転車賠償責任保険の加入義務を果たしていることとなります。加入義務を果たしていれば、新たに保険に加入する必要はありません。今一度ご自身とご家族が加入している保険を確認してみてください。

もし、保険に加入していなかった場合、東京都内のシルバー人材センター会員を対象の、加入年齢制限なしの自転車損害賠償保険がありますので、詳しくは当センター窓口に用意してある「サイクル安心保険」のパンフレットをご覧ください。

東京しごと財団

令和6年度安全就業標語決定

テーマ 「自転車事故防止」

令和6年度東京しごと財団の安全就業標語募集には、応募者12名から32作品が寄せられました。安全管理委員会では以下の3作品を選出し、東京しごと財団へ推薦決定しました。

万一の 事故に備える ヘルメット

宮沢町 伊藤 周治

心にゆとり ゆずる気持ちが 事故防ぐ

つつじが丘 佐竹 典夫

あわてるな 事故と無事故は 紙一重

つつじが丘 佐竹 典夫



「第9回ボランティア・市民活動フェスティバル」に参加しました

令和6年2月25日(日)にあいぽくで開催された、昭島市社会福祉協議会 昭島ボランティアセンター主催の(ボランティア・市民活動フェスティバル)に参加いたしました。

午後12時30分に開会式が行われました。当日はあいにくのみぞれ交じりの雨で寒い日でしたので、会場は各ボランティア団体のスタッフが目立ちました。

昭島市シルバー人材センターのブースは、三役と広報委員会、会員増強検討委員会、家事援助サービス班(子育て支援グループ)、事務局のスタッフで、(むかしあそび)とPR活動でチラシとボールペンの配布を行いました。

午後3時に終了し、ブースへの来場者は約40名で盛況とはいえませんでした。他の団体との交流が多少ともできたのではないかと思います。

最後に、スタッフの皆さんありがとうございました。



就業体験記①

広報等配布業務

宮沢町 後藤 洋子

市の広報紙などの配布物を、受持ち範囲として分けられたエリア内の全ての個人住宅や集合住宅のポストに月2回以上配布しています。部数は自分でできる範囲のエリアでした。無事故、安全第一を心がけています。

配布する期限を守るために、雨模様の際は濡れないように気を遣うこともありましたが、まずは動くことが最優先！ 配布した後の安堵感！やれば出来る！と、その緊張感と満足感で足腰を鍛えるのに程よい運動になっています。

「ありがとうございます」「お疲れ様」と頂く触れ合い言葉が、自身の士気を高めてくれ明日への活力につながっています。

孫へのプレゼントの足しや、友達のお茶代など自分へのご褒美に、また、健康といきがい両方にも役立っていると実感しています。



就業体験記②

イキイキ・ニコニコ介護予防教室
(英会話初級教室)

福島町 前島 秀朗

当、英会話教室は入門と初級の2講座で入門は田尻、小野講師、初級は平井講師と昨年担当となった私が就業しています。

私は担当になつたばかりですが、今までの講師の皆さんが長い間培ったシステムを引き継ぎ、世間一般講座とは違った介護予防を意識した英会話講座を目指しています。

記憶力向上、脳の活性化に役立つよう英単語や文法を覚えることではなく、(私たちの年齢では忘れるのはよくある話かもしれませんが)気軽に脳を刺激し何度でも根気よく活性化するような内容の講座を構成して行きたいと思っています。

英語の歌・フリートーク・ゲーム等も取り入れ気軽に楽しんで通える教室になるように皆さんと一緒に進めて行きたいと協力よろしくお願いたします。



左側が前島会員

パトロール・ボランティア
活動報告

富士見丘小学校編

中神町 川村 利之

富士見丘小学校で、パトロール・ボランティアの活動を始めてから7年になりました。

活動は小学校の校門の前に集合し、児童が安全に下校できるように見守りを行うチームパトロールと就業先への行き帰りや買物、散歩等の時に行う個人パトロールがあります。

活動の報告方法は、月毎に所定の「通路パトロール・ボランティア自己申告書」にチームパトロールと個人パトロールに出た回数を集計し、月末に校内の特設ポストに投函して行います。

以前はチームパトロールする会員も多かったのですが、現在は3人で活動しています。

私は、子どもたちの明るい笑顔と元気な姿に「パワー」をもらっています。今後とも地域貢献と健康のためのパトロール・ボランティア活動をよろしくお願いたします。



掲示板

「就業相談の日」に 来られた方のその後

皆さん！「就業相談の日」はご存じですか？ 会報「いずみ」でもご案内していますが毎月第一火曜日午前9時30分から2時間程度センター2階事務所にて、担当理事2名でお仕事探しのお手伝いをしています。

お仕事をお探
しの方、ぜひ、
足を運んでみ
てはいかがでしょうか。
しょうか。



接遇研修会の開催

事業部会

自転車・学校管理班を対象に、事業部会による接遇研修が開催されました。2月9日から22日の間の7日間、午前、午後の2回、計14回、各回2時間程度の研修会でした。講師は合同会社アツブグロース代表の宮澤先生にご指導頂きました。

テーマは「接遇・ハラスメント防止研修」で、「サービス業で働く会員の役割と背景」、「接遇の基本」、「ハラスメント」、「法令違反の苦情事例」、この4つの項目からなる講習、解説で、時代の変化とともにコンプライアンス（法令順守）が益々重要となっており、そこで今回は接

遇とハラスメントを中心にコンプライアンス違反行為を取り入れた研修となりました。繰り返し開催することで、サービス業であるシルバー人材センターの存在価値を高める目的ですので、ご理解を賜り、今後の就業に活かして、シルバー発展のためにご活躍されます様、ご期待申し上げます。

今般の研修は栗原会長の特別参加を含め、対象者の9割超の242名にご参加頂きました。ありがとうございました。



就業相談の日

毎月第1火曜日

◇9:30~11:30

センター事務所 2階

担当理事が相談をお受けします

編集後記

十年日記を書き始めてもう3冊目。つまり自分でも驚くのだが、二十数年書き続けている事になる。続けられている理由のひとつは、一日分がたったの3行という事だと思ふ。3行しかないのだから、たとえ何もなかったような日でも、その日にあったニュースや、夕食のメニュー、最近では血圧を測ったりしてその数値など、何かしら書く事はあるものである。何気ない事でも毎年同じ日が同じページに書かれていくので、何年前かの今日はこんな事があったのかと、振り返って見るだけでも結構楽しい。

これからも一日の終わりにその日を振り返り、3行書くという事を続けていきたいと思う。出来るならば、幸せで楽しい事で埋められる日々であるように願っています。

澤井 節子





安全就業巡回点検



交通安全講習会



ボランティア・フェスティバル



理事・地域班長全体会議



接遇研修会（2月開催）



書道教室（イキイキ・ニコニコ介護予防教室）



カラオケ教室の受付業務
（イキイキ・ニコニコ介護予防教室）

新入会員募集中!!

ご紹介いただいた会員の方に粗品をプレゼント

入会者をご紹介ください。入会受付時に紹介された会員の氏名を書いていただきますので、必ずご記入するようにお伝えください。

令和5年度安全就業標語 テーマ：転倒・墜落事故防止

あわてるな ゆとりのなさが 事故のもと